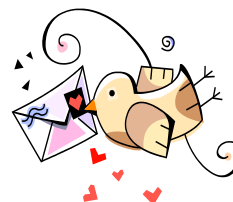


安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★ 安全リレー ★



京都府における安全・適正就業の取組み

1. 京都府シルバー人材センター連合会の概要（平成29年度実績）

- ・拠点センター数 21 団体（国庫補助団体 19 団体、補助対象外 2 団体）
- ・会員数 14,654 人（内、派遣登録会員 2,538 人）
- ・受注件数 65,087 件（請負・委任 64,512 件、派遣 575 件）
- ・契約金額 6,332,809 千円
（請負・委任 5,793,743 千円、派遣 539,067 千円）
- ・就業実人員 13,379 人（請負・委任 12,216 人、派遣 1,163 人）
- ・就業率（%）（請負・委任）83.4%、（派遣）45.8%

2. 過去5年間の傷害事故発生状況

年度	会員数 (人)	就業延人員 (人日)	事故発生件数 (件)			事故者比率
			就業中	就業途上	計	事故発生件数 ／就業延人員
平成25年度	14,626	1,356,743	75	13	88	0.0000649
平成26年度	14,482	1,387,523	53	12	65	0.0000468
平成27年度	14,673	1,398,469	87	18	105	0.0000751
平成28年度	14,620	1,415,586	67	16	83	0.0000586
平成29年度	14,654	1,429,326	64	17	81	0.0000567

3. 連合会における安全就業の取組み

(1) 安全・適正就業委員会の開催

安全・適正就業委員会のメンバーは12名であり、各センターから任期2年（更新有）で地域性等を考慮して順次ローテーションで選出・委嘱している。

委員会は年2回、7月と2月に開催し、7月は事業計画に基づき安全・適正就業推進大会の具体的な内容の協議とともに安全就業標語の入賞者の審査・決定、安全パトロールなど事故防止に向けた協議を行っており、2月の委員会では翌年度の事業計画として

委員会の開催日程、安全・適正就業推進大会の概要、安全パトロール開催計画等、安全・適正就業に係る協議・決定を行っている。

(2) 安全・適正就業推進大会の開催

安全・適正就業推進大会は、例年7月の安全・適正就業強化月間に併せて開催している。

平成30年度は、7月19日に開催し124名の参加を得て盛会裏に開催した。

講演は、健康で長生きするためには食事が重要であることから京都女子大学家政学部食物栄養学科 教授 今井佐恵子氏に「健康長寿をめざす食べ方と食べる時間」をテーマにわかりやすく有益なご講演をいただいた。

さらに、平成29年度安全就業優秀シルバー人材センターとして表彰を受けた公益社団法人刈谷市シルバー人材センター 主事 水口尚彦氏から「安全就業の取組み」についての事例発表があり大いに参考となった。

また、講演等に先立って安全就業標語の入選者表彰式が行われ、最優秀賞1点、優秀賞2点について、表彰状と記念品が贈られた。

最優秀賞

「作業前 心のベルト 締め直せ」

公益社団法人

向日市シルバー人材センター

平林 勇夫 氏

優秀賞

「事故を呼ぶ 慣れが

油断が 慢心が」

公益社団法人

長岡京市シルバー人材センター

野間口 正 氏



石黒会長 開会挨拶



今井佐恵子氏 講演



水口尚彦氏 事例発表

優秀賞

「声かける 気遣う心が 事故防ぐ」

公益財団法人

南丹市福祉シルバー人材センター

藤田 孝一 氏



(3) 安全就業パトロール

安全・適正就業委員会を中心に、平成30年10月25日に公益社団法人福知山市シルバー人材センターを、平成30年10月31日に公益社団法人向日市シルバー人材センターを訪問し、それぞれの管内で行われている剪定作業や除草の作業現場を点検した後、安全・適正就業等に係る協議を行い対策の推進を図った。



堤防における草刈り作業（福知山市）



浄水場入口付近における剪定作業（向日市）

京都府シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

★ 平成30年度 年末年始無災害運動について ★

実施期間 2018年12月15日～2019年1月15日

寒さが日を増すごとに厳しさを増していております。

ついに本格的な冬が到来してまいりました。

さて、今月は、事故が発生しやすく、何かとあわただしい年末年始を、安全に過ごすための参考となりますように、中央労働災害防止協会が主唱している「年末年始無災害運動」を取り上げてみました。

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができますようにという趣旨で、昭和46年から厚生労働省後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年で48回目を迎えます。

一年の締めくくりを笑顔で送り、災害のない明るい新年を迎えるために「安全最優先」の考え方を基本に、あわただしい時期にこそ、作業前点検の実施、安全な作業方法の確認などを着実に実施しましょう。

平成30年度 年末年始無災害運動標語

みんなで感謝の総点検 笑顔で迎える 年末年始

仲間の不安全行動は注意し合おう

不安全行動は絶対しない、させない。黙認せずに、注意し合える職場風土を作ることが一緒に働く仲間や、支えてくれている家族への感謝も忘れずに。

感謝 耳の痛い注意でも、あなたがけがをしないように心配してくれるから・・・
注意をしてくれることに感謝！

見落としがちな箇所を清掃しよう

年末には、手がまわらなかつたり、見落としがちな箇所を総点検して清掃を行ないましょう。職場をきれいにすることは、機械・設備の安全点検や、通路の確保などにもつながり、安全上も重要です。

見落としがちなところ

- ◆機械・設備や什器の上下、裏側のほこりや粉じん
- ◆普段の清掃で取りきれない、油や樹脂の汚れ
- ◆蛍光灯や、ランプの汚れ。そろそろ寿命なら交換も

感謝 清潔で気持ちいい職場で
毎日働けることに感謝！

忘年会や新年会で体調を崩さない

年末年始は忘年会、お正月、新年会などで、ごちそうを食べたり、飲食したり、夜更かしで寝不足になったりと不摂生をしがちです。

飲食は適量を守り、睡眠も十分にとって、体調を崩さないように注意しましょう。

感謝 ふだんから自分の体調を気遣ってくれる
家族や周囲の人に感謝！

★ 自分の職場で予防しよう冬の感染症 ★

感染症の流行が聞かれる季節になりました。

近年、日本では毎年約 10 人に 1 人がインフルエンザに感染していると言われています。自分でできる予防と職場で広めない対策をして、冬を元気に過ごしましょう。

冬に流行りやすい感染症って？

感染症は、ウイルスなどの病原微生物（病原体）によって引き起こされる病気です。

冬は空気が乾燥していて、低温、低湿度を好むウイルスの感染範囲が広がり、感染しやすくなります。身近な感染症としてインフルエンザ（38℃以上の発熱、頭痛、のどの痛み、関節痛などの全身症状）、ウイルス性胃腸炎（ノロウイルスやロタウイルスなどにより突然の嘔吐や下痢症状を起こす）などがあります。

予防のポイント

- ◆まずは予防接種で事故防衛
- ◆次に病原体を体内に入れない
- ◆もし感染してしまったら・・・
 - ・医療機関を受診する
 - ・安静にして過ごす ・咳エチケット(マスクをする等)
 - ・感染が拡大しないように、人との接触を極力さける

(出所 中央労働災害防止協会 「安全衛生かべしんぶん」)

平成 30 年度 11 月事故速報

(1) 重篤事故

11 月は、4 件の重篤事故報告がありました。

11 月までの累計で比較してみると、平成 29 年度の 28 件に比して平成 30 年度は 25 件と 3 件減少している。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では平成 29 年度の 19 件に比して 17 件と 2 件の減少となっており、また就業途上においては、平成 29 年度の 9 件と比して 8 件と 1 件の減少となる結果となった。

11 月報告分までの累計

平成 30 年度 11 月累 計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成 29 年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	17 (4)	14 (2)	3 (2)	16 (4)	1 (0)	就業中	19	12	7	19	0	
就業途上	8 (0)	7 (0)	1 (0)	7 (0)	1 (0)	就業途上	9	7	2	6	3	
計	25 (4)	21 (2)	4 (2)	23 (4)	2 (0)	計	28	19	9	25	3	

↳ 対前年度比 89.3%

※ () 内は 11 月報告分

11 月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
22	男 70 歳	就業中 (入院)	樫の木の剪定依頼を受け、直径 32cm の主幹を切り倒す作業をしていた時、ロープを引く係りとして従事中に転倒した。入院後 6 ヶ月が経過したが入院中である。	○	—	—
23	男 71 歳	就業中 (死亡)	草刈機を使用し、地上高 3 m、頂上から底辺部までの表面距離 6 m、斜度 45° の法面頂上付近を草刈中に斜面から転落、その際に頸髄を損傷し死亡した。	○	—	—
24	男 75 歳	就業中 (死亡)	仕事を始めようと移動していた際に作業所に無造作に置かれていたタイヤに躓いて転倒した。翌日、病院で診察してもらったが痛みが引かないため再受診すると骨折と診察され、骨粗鬆症、糖尿病なども患っていたので、その場で入院となった。入院治療を行っていたが、「転倒からの骨折による感染症」により死亡した。	—	—	—
25	男 72 歳	就業中 (入院)	柿の木の伐採時に脚立の上でバランスを崩し落下し骨折し入院した。入院後 6 ヶ月を経過したが、その後退院した。	×	×	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

11月は、就業中の事故19件、就業途上の事故5件と、合計24件であり、昨年度同月27件と比して3件の減少となっている。また、男女別では、男性は2件の減少となっており、女性は1件の減少であった。

11月までの累計で比較してみると、昨年度の件数に比して、本年度は202件と11件の増加となっている。就業中・就業途上別にみると、就業中は13件の減少となっているのに対して、就業途上は24件の増加となっている。男女別では、男性は12件の減少となっているのに対して、女性は23件の増加となっている。

平成30年度11月分

	仕事の内容	事故数(件)		うち男性(件)		うち女性(件)		平均年齢(歳)	
		11月	累計	11月	累計	11月	累計	11月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	9(10)	50(68)	9(10)	49(66)	0(0)	1(2)	75	75
	除草作業	3(9)	30(31)	2(8)	23(24)	1(1)	7(7)	77	75
	屋内・屋外清掃作業	3(2)	19(17)	2(1)	10(4)	1(1)	9(13)	75	72
	その他	4(3)	36(32)	3(2)	24(25)	1(1)	12(7)	75	75
	計	19(24)	135(148)	16(21)	106(119)	3(3)	29(29)	75	74
就業途上	徒歩	1(2)	18(12)	0(0)	5(5)	1(2)	13(7)	72	76
	自転車	3(1)	30(19)	2(0)	11(11)	1(1)	19(8)	74	74
	バイク	1(0)	13(12)	1(0)	5(6)	0(0)	8(6)	86	77
	自動車	0(0)	6(0)	0(0)	2(0)	0(0)	4(0)	-	75
	計	5(3)	67(43)	3(0)	23(22)	2(3)	44(21)	76	75
合計		24(27)	202(191)	19(21)	129(141)	5(6)	73(50)	76	75

()は平成29年度同月、累計では同月までの発生件数

※植木・樹木の剪定等の事故の累計件数については、「男性会員の6ヶ月以上(180日)の入院報告」が2件あったので、重篤事故(11月報告分)として計上し、その分(2件)を累計から差引いた。

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。

(平成30年4月24日付 全シ協 事務局長通達により通知済)

編集後記

今年も残りわずかとなりました。会員みなさまはお忙しい日々をお過ごしのことと思います。師走に入ってから夏日を記録した地点もあり、次の日にはまた急に寒くなったりと日々天候が変化し、体調管理が大変だったことと思います。今年の漢字は「災」だそうですが、北陸の豪雪、大阪北部地震、北海道地震、西日本豪雨、度重なる台風、そして記録的な猛暑。思いつくだけでも色々な災害がありました。被災された皆様が一日も早く通常の生活に戻ることができますように。そして残り半月足らず、事故を起こすことなく、元気に新しい年を迎えることができますよう、最後まで気を引き締めて、参りましょう。(松山)

今の時期は冬季特有の天候や寒さなど就業場所の作業環境の悪化による災害も発生する恐れがありますので、気をつけましょう。

特に降雪地域では、雪道、凍結路のスリップ事故にも十分な注意が必要です。就業途上ならず、就業中の事故にも十分注意してください。(笹野)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 216 円 A4 判
(税込・送料実費)

【改訂の内容】

- 1 現行の B 5 版 / 16 頁から A 4 版 / 20 頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成 27 年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】